

令和7年度 第1学年 道徳の時間 年間指導計画

江戸川区立東葛西中学校

- 【学年目標】 1 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。
 2 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し感謝と思いやりの心をもつ。
 3 自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。

	月	資料名	ねらい
1 学期	4 月	1 あなたが うまれた ひ	全ての生命への祝福 生命誕生の喜びを謳った詩をもとに、生命のかけがえのなさやありがたさについて考え、自他を尊重しようとする心情を育てる。
		2 おはよう	心と形 挨拶の意味を考えることを通して、礼儀の意義を理解し、相手を尊重する気持ちをもって、時と場に応じた適切な言動をとうとうとする実践意欲と態度を育てる。
	5 月	3 古びた目覚まし時計	時間の価値 時間の大切さに対する「僕」の気づきを共感的に捉えることを通して、自律的な生活を送ることのよさやそのために必要なことは何かを考え、望ましい生活習慣を身につけようとする実践意欲と態度を育てる。
		4 不自然な独り言	思いやりの心 目の不自由な人と出会った時の「僕」の行動について考えることを通して、温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもとうとする心情を育てる。
		5 自分で決める	自由と責任 部活動をやめようか迷う陽香里へのアドバイスについて、話し合いを通して考え、一つの判断には責任が伴うことに気づき、自分の行動に責任をもとうとする判断力を育てる。
	6 月	6 「どうせ無理」をなくしたい	夢や目標を諦めない 「どうせ無理」と言われた夢を実現させた植松さんの生き方を学ぶことを通して、より高い目標をもってその達成を目ざし、希望と勇気をもって着実にやり遂げようとする心情を育てる。
		7 ルールとマナー	法やきまりの意義 SNS でのやり取りについて多面的・多角的に捉えることを通して、インターネット上のコミュニティにおいても「法やきまり」により秩序が保たれていることを理解し、自他の権利を大切にしながら、社会の秩序と規律を高めていこうとする判断力を育てる。
		8 「いじり？」 「いじめ？」	相手の立場に立って考える いじりといじめはどう違うのか話し合うことを通して、考え方や感じ方は人それぞれ異なることに気づき、相手の立場に立って考え行動しようとする実践意欲と態度を育てる。
	7 月	9 ごめんね、おばあちゃん	家族の一員として おばあちゃんに対する「僕」の思いの変化を捉えることを通して、家族の一員としての自覚をもち、父母、祖父母に対する敬愛の念を深めようとする心情を育てる。
		10 まだ進化できる ～イチロー選手の生き方～	個性を伸ばす イチロー選手が進化し続けられる理由について話し合うことを通して、個性とは何かを考え、個性を伸ばし向上していこうとする実践意欲と態度を育てる。
		31 夢への挑戦「バラカヌー」	困難を乗り越え挑戦し続ける 夢へ挑戦する瀬立モニカ選手の生き方について考えることを通して、挑戦し続けることが日々の生活を充実させることに気づき、自らの掲げた目標に着実に到達しようとする実践意欲と態度を育てる。
2 学期	9 月	11 最強の敵 最大の友	高め合う友情 ライバルをたたえる思いを引き出す役割演技を通して、高い目標に向かって切磋琢磨し合うことの大切さに気づき、互いを信頼しながら高め合おうとする心情を育てる。
		12 選ぶということ	社会の一員として 「自分たちの代表を選ぶ」ことの意味について考えることを通して、社会参画の意識を高め、学校や社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする実践意欲と態度を育てる。
		13 裏庭のできごと	誠実な生き方 自分の失敗を正直に報告できなかった健二の葛藤について考えることを通して、誠実に行動することで得られることに気づき、責任ある行動をとうとうとする実践意欲と態度を育てる。
		32 マンションの椅子 ～熊本地震の中で見つけたもの～	思いやりの尊さ 震災後の地域の人々による尊さとは何かを感じ、人間愛の精神を深めようとする実践意欲と態度を育てる。
	10 月	14 一日前に戻れるとしたら	安全への配慮 教材と体験をもとに、危険を回避するために必要なことについて考え、安全への配慮としてすべきことについて理解を深め、望ましい生活習慣を身につけようとする判断力を育てる。
		15 富士山を守っていくために	豊かな自然を守る 富士山が世界文化遺産に登録された経緯を知り、人間と自然との関わりについて考え、自然を守るために自分にできることを探していこうとする実践意欲と態度を育てる。
		16 けやき中を誇りに	学校に誇りをもつ 伝統の合唱コンクールに臨む姿勢を考えさせることを通して、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに集団生活の充実に努めようとする心情を育てる。
		17 あなたならどうしますか	いじめをなくすために 中学校で起こりそうな二つの問題場面から、いじめをなくすために大切なことについて考えることを通して、正義を重んじ、誰に対しても公正に接しようとする実践意欲と態度を育てる。

2 学 期	11 月	18 ショートパンツ初体験 in アメリカ	個性を表現すること, 受け入れること 今までの自己を脱却し強く生きようとする「私」の姿を通して, いろいろなものの見方や考え方があることに気づき, それぞれの個性や立場を尊重し, 寛容の心をもって謙虚に他に学ぶようとする心情を育てる。
		19 もったいない	感謝の心をもつ 「もったいない」ことについて考えることを通して, 身近なものや今ある生活, 周囲からの支えの「ありがたさ」に気づき, 感謝の気持ちをもって毎日を大切に生きようとする実践意欲と態度を育てる。
		20 いのちを考える	命の重さ 他の生命との関係性の側面から, 生命の重さ, 大切さについて考え, 生きとし生けるものに対する感謝と尊敬の念をもとうとする心情を育てる。
		33 受け継がれる博愛の精神 ～ロシア兵墓地の清掃～	地域の一員として ロシア兵墓地の清掃活動の意義やそれを続ける中学生の心情を考えることを通して, 地域社会の一員としての自覚をもち, 望ましい伝統を大切にしようとする心情を育てる。
	12 月	21 私に宇宙のプレゼント	生きることの喜び 病と闘う「私」の姿について考えることを通して, 弱さを乗り越え, 強く生きようとする気持ちの大切さを理解し, 人間として生きることの喜びを見いだそうとする心情を育てる。
		22 歴史を変えた決断	世界の人々のために 緒方貞子さんの決断や言葉について話し合うことを通して, 国際的視野に立って世界の平和と人類の発展に貢献することについて考え, その実現に努めようとする実践意欲と態度を育てる。
		23 幸せな仕事って	働くことの意味 職業聞き取り学習の話から, 職業選択のあり方や働くことの意義を考えることを通して, 自分の仕事に誠実に取り組むことのすばらしさに気づき, 自分の将来の勤労について考えようとする実践意欲と態度を育てる。
3 学 期	1 月	24 伝えたい味	郷土文化の継承 すまんじゅうを伝え残そうとする「私」の思いを考えることを通して, 先人や地域と伝統文化のつながりに気づき, 郷土の発展のために自分が寄与しようとする実践意欲と態度を育てる。
		25 二度と通らない旅人	人間の弱さ, 強さと気高さ 幸せな境遇になった時の父親の気持ちを考えることを通して, 人間には弱さや醜さがあるが, それを克服して高く生きることができることに気づき, 誇りある生き方を目ざそうとする実践意欲と態度を育てる。
		34 子どもも親も笑顔の町に	多面的・多角的に考える 郷土を愛する先人の思いや業績について話し合うことを通して, 過去から現在に受け継ぎ, そして未来へと継承して郷土の発展に貢献しようとする心情について考えを深めている。
	2 月	26 全ての人に安心, 安全な水を	新しいものをつくり出す 水質浄化剤を発明した小田兼利さんの生き方を通して, 真理を探究し続けることの大切さやそれを支える思いについて考え, 工夫して新しいものを創造していこうとする実践意欲と態度を育てる。
		27 チョコの行方	人とつき合うときに大切なこと 「つき合う」とはということか話し合うことを通して, 人とつき合うときに大切なことを考え, 相手を信頼し, 大切に思い, 理解し高め合おうとする実践意欲と態度を育てる。
		28 よく生きること, よく死ぬこと	限りある命を生きる 死ぬことへの恐怖や悔しさを抱えながらも死と向き合い, 人生を全うしたヨッチャんの姿から, よく生きるとはどういうことかを考え, 周囲への感謝をもってかけがえのない生命を大切に生きていこうとする心情を育てる。
	3 月	29 “庶民の笑い”を絶やさない ～落語家・桂米朝さんの生涯～	日本の伝統と文化の継承 上方落語の復活に尽くした桂米朝さんの生き方から, 伝統や文化を継承するために必要なことについて考え, 日本のよさを感じその発展に寄与しようとする実践意欲と態度を育てる。
		30 オーロラの向こうに	人の力の及ばないもの 自然の前で自らの有限性を痛感する「僕」の心境について思いをはせることを通して, 人間の力を超えたものとの向き合い方に気づき, 自然を畏れ, 敬おうとする心情を育てる。
		35 「夢」をつなぐ ～名古屋城本丸御殿の復元にかけた思い～	郷土に対する誇り 夢童由里子さんの名古屋城本丸御殿の復元にかけた思いを考えることを通して, 先人への感謝と郷土に対する認識を深め, 郷土に対して誇りや愛着をもって主体的に関わろうとする実践意欲を育てる。

- 【学年目標】 1 自立の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。
 2 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し感謝と思いやりの心をもつ。
 3 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることの喜びを見いだすように努める。

	月	資料名	ねらい
1 学期	4 月	1 お菓子、どうする	みんな納得できるルール作りのために きまりのよりよいあり方について考えようとする道徳的判断力を育てる。
		2 まるごと好きです	人との上手なつき合い方 人との上手なつき合い方を身につけようとする実践的態度を育てる。
	5 月	3 先輩	自律的な行動 「自律的な行動とはどういうものか」について考えることを通して、しっかりとした学校生活を送ろうとする態度を育てる。
		4 あなたの声、心に届け	誰もが自分らしく生きるために 自分のできることを実践しようとする意欲を高める。
		5 最優秀	誰に対しても公平に接する 嫌がらせに気づけなかった「私」の心情を捉えることを通して、いじめや差別のない社会をつくろうとする心情を育てる。
	6 月	6 留学で考えさせられたお金	自制心をもつ お金の意義や価値について考えるとともに、望ましい生活習慣を身につけ、節度を守り節制に心がけようとする心情を育てる。
		7 六千人の命のビザ	真の国際人とは 杉原千畝の決断を通して、国際的視野に立って世界の平和と人類の発展に寄与する大切さに気づき、千畝の生き方を通して学んだことを自分の人生にいかしていこうとする実践意欲を育てる。
		8 心のアンテナ	あなたらしきとは 自分らしく生きていこうとする態度を育てる。
	7 月	9 本当の友達って	本当の友情とは 本当の友情とは何かを考え、心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めようとする心情を育てる。
		10 風に立つライオン	真理を追い求め、新たな一歩を 「風に向かって立つライオン」をイメージすることで、志をもって、新しいものを生み出そうとする意欲を育てる。
		11 分身ロボット	新しいものを創造する 主体的に真理を探究して新しいものを生み出そうとする意欲を養う。
2 学期	9 月	12 SNS とどうつき合う？	安全で節度ある生活 生活をふり返り、節度を守り節制に心がけ、安全で調和のある生活をしようとする態度を育てる。
		13 あんパンとお礼状	他者を敬う態度 時と場に応じた適切な言動をとろうとする心情を育てる。
		14 清掃はやさしさ	仕事への向き合い方 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、自分の仕事に誇りをもち、勤労を通じて社会に貢献しようとする心情を育てる。
		15 夜の果物屋	周りの支えや善意に気づき感謝する 少女の気づきに共感し、自分を支えている善意に目を向け、そのことに感謝し応えようとする心情を育てる。
	10 月	16 まだ食べられるのに	持続可能な社会の実現 「食」という身近なところからよりよい社会づくりに関わっていこうとする態度を育てる。
		17 「べつの道」へ ～レイチェル＝カーソンのメッセージ～	自然愛護に努める 自分もそのために寄附しようとする心情を育てる。
		18 違反摘発	法やきまりの意義 法やきまりの意義について考えることを通して、公徳心によって支えられた遵法精神を育てる。
		19 心を鍛える	その失敗は、本当に失敗？ 積極的な思考や行動を習慣化していこうとする実践意欲を養う。
	11 月	20 狂言師・野村萬斎物語	伝統の継承、新しい文化の創造 野村萬斎さんの狂言に対する思いを読み取らせることを通して、「伝統の継承や新しい文化の創造」のために寄与しようとする心情を育てる。
2 学期	11 月	21 わたしのせいじゃない	公正な社会のために 「わたしのせいじゃない」とは言えない問題について話し合うことを通して、社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする態度を育てる。
		22 由紀のいら立ち	友達や信頼と 友達とよりよい関係を築き上げようとする心情を育てる。

3 学 期		23 飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ	家族の愛情 井村さんの手紙を読み、無私の愛情をもって育ててくれた父母や祖父母を敬愛し、家族を大切にしようとする心情を育てる。
		24 「金のおの」その後	誠実な生き方とは 誠実でよりよい生き方を主体的に目指そうとする心情を高める。
		25 地下鉄で	思いやって行動する大切さ 同世代の子たちの行動について考えるを通して、思いやりの気持ちをもって他者に接していくことが、社会をよりよくしていく一端を担っていることに気づかせ、思いやりを行動に表そうとする態度を育てる。
	12 月	26 国境なき医師団・貫戸朋子	命を大切にすることは 紛争という極限状況における貫戸朋子さんの判断についての議論を通して、命を大切にすることはどういうことなのかを考えていこうとする態度を育てる。
		27 たったひとつのたからもの	精いっぱい生きる 秋雪くんの生きる姿を見て周りの人がどう思ったかを捉えるを通して、精いっぱい生きていこうとする心情を育てる。
	1 月	28 伝えるということ	郷土のために 郷土の伝統と文化を継承してきた先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、すすんで郷土の発展に努めようとする態度を育てる。
		29 三年生を送る会	先輩への敬愛 三年生に感謝の気持ちをこめて送り出す行事に挑む姿勢を考えることで、教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合い、集団生活の充実に努めようとする心情を育てる。
		30 ハッチを開けて、知らない世界へ	本物に触れる 体験したからこそ感じる宇宙や地球とのつながりについての話し合いを通して、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を育てる。
	2 月	31 五万回斬られた男・福本	充実した生き方 「五万回斬られた男」と称される福本清三さんの生き方について考えるを通して、自分自身が納得できる深い喜びを伴った意味ある人生を生きるための心得を探索しようとする心情を育てる。
		32 復旧にとどまらず、復興を ～後藤新平～	よりよい社会のために 「私たちの学校や住んでいる地域をよくするためにできそうなこと」についての議論を通して、これからの生活や社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする態度を育てる。
		33 サッカーの種をまく	郷土のよさや強み 郷土が育んだ伝統や文化について知り、地域の一員としての自覚と誇りをもって、伝統や文化の継承に努めようとする態度を育てる。
	3 月	34 ドイツ・ヴリーツェンに眠る日本人医師 ～肥沼信次の生涯～	世界の中の日本人として 戦後、ドイツに残って診療活動が続け、最期は自らも感染し客死した肥沼信次の生き方について学ぶことで、国際貢献のあり方について考えようとする態度を育てる。
		35 語りかける目	気高く生きる 人間には弱さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることに関心を見出そうとする心情を育てる。

- 【学年目標】 1 自立の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。
 2 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の想像に貢献する。
 3 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。

	月	資料名	ねらい
1学期	4月	1 父のひと言	責任を全うする 責任をもつことの大切さを自覚し、自分の責任を全うしようとする態度を育てる。
		2 僕は友達を裏切ったのか？	真の友情 個性の相違を超えた友情の尊さについて考え、よりよい友情を培っていかうとする態度を育てる。
		3 歩きスマホをどうするか	自制する心 スマホとの付き合い方を考えることにより、節度を守り、節制を心がけようとする心情を育てる。
	5月	4 平和への願い	平和と共存 参戦国相互の人々の立場から考え議論することを通して、平和と共存を実現していくために多様な他者と主体的に関わっていかうとする態度を育てる。
		16 二通の手紙	法やきまりの意義 規律ある安定した社会の実現を目ざし、きまりや法の意義について深く考え、主体的に守ろうとする態度を育てる。
		9 ハゲワシと少女	かけがえのない命 かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。
	6月	7 あなたは顔で差別しますか	互いの個性や立場の尊重 それぞれの個性や立場を尊重し、寛容な心をもって相互に理解し、謙虚に他に学び、自らを高めていかうとする態度を育てる。
		8 昇き縄	地域社会の一員として 郷土の伝統や地域社会の一員としての自覚の大切さに気づき、郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする態度を育てる。
		10 無限の道	真理を求め続ける 自らの信念や生き方について考え、真理を探究していかうとする態度を育てる。
		5 変わりゆく地球	地球とともに生きる 私たちの暮らす地球の姿を知り、自然を愛護し、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めようとする態度を育てる。
	7月	11 鳩が飛び立つ日～石井筆子～	よりよい社会の現実 自分の行動が、世の中を変える活動の一端を担うことを意識し、積極的に社会に貢献しようとする態度を育てる。
		13 日本の伝統文化 将棋	伝統の継承 プロ棋士の藤井聡太さんや加藤一二三さんの将棋に対する思いを考えることを通して、将棋が日本の文化として人から人へと受け継がれていることに気づき、自らもその担い手であることを意識する心情を養う。
2学期	9月	12 フットライト	互いのよさを認め合う 個性の相違を超えて相手のことを大切に思うことの尊さについて考え、よりよい人間関係や友情を培っていかうとする態度を育てる。
		17 裁判員制度を考える	よりよい社会の実現 裁判員制度の意義を考えることを通して、社会の形成に自分自身も責任をもつ必要があることに気づき、おりよい社会の実現を目ざそうとする心情を育てる。
		6 卒業文集最後の二行	いじめを許さない心 いじめの加害者が抱える自責の念や、被害者の気持ちについて考えることを通して、差別や偏見のない社会を実現していかうとする態度を育てる。
	10月	14 サルと人も愛した写真家	自然との共存 大自然のかけがえのないものに触れ、自然と人間、自己との関わりについて考えを深めることにより、自然との調和の中で生かされていることを自覚し、共存していかうとする態度を育てる。
		26 足袋の季節	思いやりの心 多くの人々の善意により今の自分があることに気づき、思いやりあふれる人間愛の精神を深めようとする態度を育てる。
		15 ひび割れ壺	自分らしく生きる 自分の個性を生かして自分らしくよりよく生きるためには、どんなことが大切なのかを考え、実践しようとする態度を育てる。

3 学 期	11 月	21 いのちの花プロジェクト	生命の尊厳 殺処分された動物について考えることを通して、生命の尊厳に気づき、生命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることに感謝の念をもとうとする態度を育てる。
		1 8 校長先生の模擬面接	礼儀の意義 時と場合に応じた適切な言動について考え、形の根底にある礼儀の意義を理解し、主体的に関わっていこうとする態度を育てる。
		1 9 カーテンの向こう	気高い生き方 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、誇りある生き方をしようとする心情を育てる。
		20 ふきのとう	勤労を通して社会に奉仕する 勤労の尊さを理解し、自らの生きがいのある人生を探究するとともに、勤労を通して社会に奉仕する気持ちを深め、進んで社会も発展向上に努めようとする意欲を育てる。
		2 3 あふれる愛	世界平和と人類の発展 世界の平和と人類の発展のためにはどのような視点をもつことが大切なのかを考えることを通して、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与していこうとする態度で育てる。
	12 月	2 4 片足のアルペンスキーヤー・三澤拓	目標に向かう強い意志 目標を実現するために希望と勇気をもって実行するとともに、困難に屈せず粘り強くやり抜こうとする態度を育てる。
		25 テーブルの卵焼き	家族の絆 自分の成長を願い、愛情をもって育ててくれた父母や祖父母に対する敬愛の念を深め、家族を大切にしようとする態度を育てる。
		22 家族思いと意思表示カード	自他の生命の尊重 かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。
	1 月	3 1 駐車場係として	自分にできること 自分の役割を放棄して試合を見に行こうとした「僕」の心情と行動の是非を話し合うことを通して、自分の役割を忠実に果たすことの大切さに気づき、責任ある行動をとるためをとるための判断力を育てる。
		3 2 音楽は対話の始まり	社会に貢献する 進んで社会とかかわり積極的な生き方をしようとする態度を育てる。
		33 琵琶湖の水を京都に送る～郷土の復興に尽くした北垣国道と田辺朔郎～	郷土の先人への尊敬と感謝 郷土の発展に尽くした先人への尊敬と感謝の念を深め、自己を見つめ郷土に対して主体的に関わろうとする態度を育てる。
	2 月	3 4 世界に誇る「BONSAI」	日本の伝統・文化の継承 我が国の伝統や文化についての理解を深め、それを継承していくことの重要性に気づき、自国の文化を尊重しようとする態度を育てる。
		35 カムイモシリとアイヌモシリ	自然への畏敬 アイヌの人たちの自然との関わり方について考え、議論することを通して、自然への畏敬の念をもちながら自然と共存していこうとする態度を育てる。
		2 7 憧れの消防団	社会連帯の精神 社会参画、社会連帯、公共の精神について考え、話し合うことを通して、社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする意欲を育てる。
		2 8 償い	人間としての誇り 人間には、弱さや醜さもあるが、それを克服し気高く生きようとする心があることを理解し、人間としてよりよく生きていこうとする態度を育てる。
	3 月	30 もう一つの時間	自然と自己との関わり 人間の力を超えたものに対して美しさや気高さを感じ、自然の中で生かされていることを自覚して、自己のあり方・生き方を深めていこうとする心情を育てる。
		29 旅立ちの日に	集団の一員として 中学校生活最後の大切な行事である卒業式に挑む姿勢を考えさせることで、自分たちの学校を改めて見つめ直し、学校の一員として自分にできることは何かを考えようとする態度を育てる。